

市民による、市民のための

丹波篠山市史編さん

「編さん」とは、多くの材料を集め、またはそれに手を加えて、書物の内容をまとめること。丹波篠山市には、全国に誇る歴史遺産が数多く残されています。それらを編さんし、形に残して生きた資料として活用することで、新たな魅力を広げるとともに、人から人への輪も広がります。令和元年から始めた丹波篠山市史編さん事業は、多くの市民の支援と熱心な活動により、子どもたちや大学生からも注目が集まっています。今回は、地域の歴史遺産を未来につなぐ「丹波篠山市史編さん」についてお伝えします。

問い合わせ 市史編さん課 ☎593-1070



篠山城大書院の

いまむかし

(歴史美術館蔵)



大書院復元から  
今年で25年！



幕末の春日神社秋祭り (歴史美術館蔵)

幕末の春日神社秋祭り (歴史美術館蔵)

旧篠山町役場と消防団 昭和30年

**丹波篠山市の歴史や文化を  
未来につなぐために**

平成11年4月に多紀郡「篠山町、西紀町、丹南町、今田町」が合併し、篠山市となりました。篠山市となる前から、すでに各旧町・村において過去の歴史を振り返るために、町・村史が編さんされてきましたが、市全域をまとめたものはありません。

資料の散逸や、人々の記憶が薄れていくなかで、丹波篠山市の礎を築かれた先人の歴史と文化を次の世代に残していく必要があります。

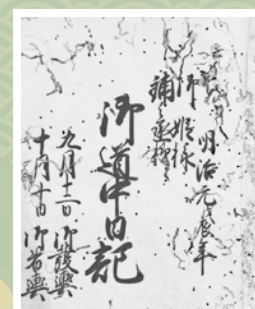
令和元年に丹波篠山市としてスタートしたことを契機に、市は10巻の刊行を目標として「丹波篠山市史編さん事業」の取り組みを始め、時には市外にも出向くなどして精力的に活動が進められています。

未来へつなぐ

地域資料整理サポーター

平成23年、神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターによる日置の中西家文書調査が始まりました。古文書はくずし字で書かれています。読み解くには知識が必要でした。そこで、研修などを行い、平成25年に市民を中心とした「地域資料整理サポーター」を結成。寄せられた多くの資料を整理し読み解き、データ化して活用できる形にするなど、大きな役割を担っています。

サポーターで活躍する岩瀬秀子さんは「とても難題の多い作業だが、藩政日記には歴史的な発見も多く、興味深く感じることがあってとても楽しい。また、分かりやすくノートにまとめると、子どもたちが興味を持ってくれるのがうれしい」とこり。松内一雄さんは、「歴史は難しいけれど、自分でできることで地域に貢献することにやりがいを感じる」と話されました。



楽しく読める

市史編さんをめざして

篠山藩の「藩政日記」には、江戸時代の丹波篠山ならではの貴重な記録が残されています。他にも丹波篠山で発見された恐竜や、各地の文化財、自然環境や食文化などを多分野にわたって研究し、歴史資料や記録をまとめる作業に取り組まれています。

- 通史編** 17つの専門部会からなる/ 通史編専門委員会  
歴史資料などに基づいて原始から近現代までの市の歴史や文化を書き記す  
考古編/古代編/中世編/近世編  
近現代編/文化財編/自然環境編
- 資料編** 市史の根拠となる歴史資料をまとめる
- 地域編** 地域に残る歴史・文化・伝統を調査研究してまとめる

輝かせよう！地域の歴史遺産

丹波篠山には、全国的にも珍しい貴重な資料がたくさん残されています。また、丹波篠山の市史編さん事業は、日本社会のありようを考えるうえで新たな発見へとつながる重要なものになると注目されており、期待を高めています。

皆さんの家にも、宝物のような、貴重な資料が眠っているかもしれません。古い資料や写真をお持ちの方は、気軽に市史編さん課へご相談ください。

神戸大学大学院人文学研究科  
特命助教 松本充弘さん



**告知** 市史編さん 近世編専門部会調査報告会  
「藩政日記の世界」

旧篠山藩主青山家文書(藩政日記)をひも解くことで見えてきた当時の社会を、これまで調査に関わってきた大学生が発表します。

**12月21日**  
13:30~15:30

同志社大、関西大、神戸大の  
学生たちが発表！

場所 中央図書館  
視聴覚ホール  
定員 50人(無料)



リポーター

はたひろえ  
畑弘恵さん